

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2021年3月期 第2四半期 決算概要

II. 当社事業の状況

III. 2030年の将来像に向けて

2020年11月26日



三井住友建設

I. 2021年3月期 第2四半期 決算概要

〔2020年11月11日公表〕



三井住友建設

01. 連結業績概要

01

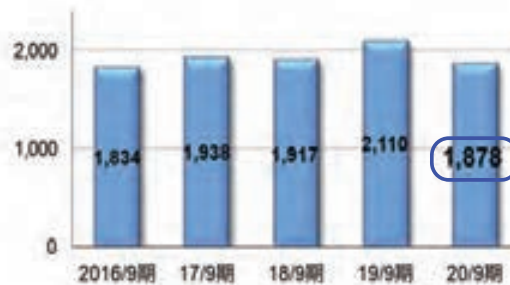
- 売上高：大型工事の多くが施工の端境期であり、前期比減少
- 利益：売上高減少と、一部工事の利益低下により、前期比減少

(単位：億円)

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	
	実績	実績	実績	前期比増減
売上高	1,917	2,110	1,878	△232
売上総利益	228 11.9%	228 10.8%	183 9.8%	△45
営業利益	125 6.5%	122 5.8%	77 4.1%	△45
経常利益	125 6.5%	120 5.7%	64 3.4%	△56
当期純利益(*)	88 4.6%	79 3.8%	35 1.8%	△44

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 連結売上高



■ 連結営業利益



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

02. 国内・海外別業績【連結】

02

(単位：億円)

◆ 売上高

2020/9期 売上高1,378億円



	国内	海外	(構成比)
'18/9期	1,635	282	(15%)
'19/9期	1,837	273	(13%)
'20/9期	1,578	300	(16%)

◆ 売上総利益

2020/9期 売上総利益183億円

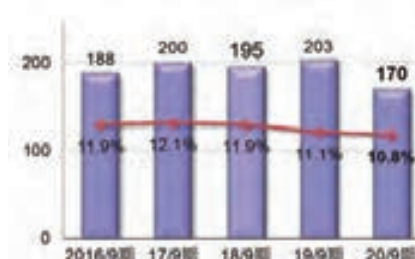


	国内	海外	(構成比)
'18/9期	195	33	(14%)
'19/9期	203	25	(11%)
'20/9期	170	13	(7%)

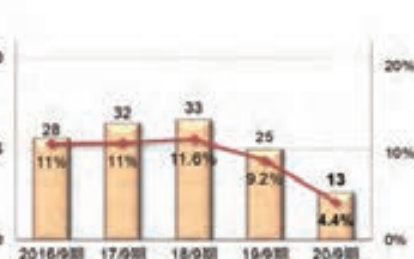
【国別売上高】

	'20/9期
フィリピン	81
ミャンマー	44
ベトナム	35
インド	33
その他地域	107
海外合計	300

【国内総利益・利益率】



【海外総利益・利益率】



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

03. 建設受注高《個別》

03

建設受注高

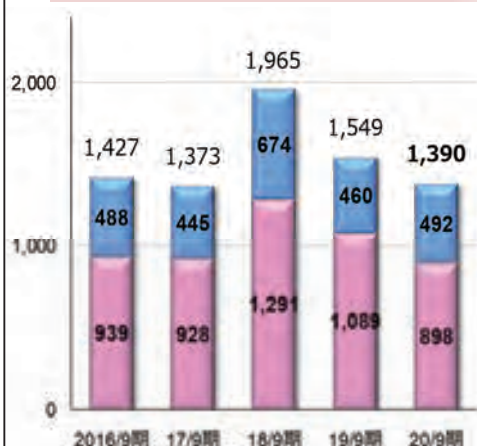
1,390億円

海外受注高（現地法人含む）

126億円

○国内土木は堅調だが、新型コロナウイルス感染症（コロナ禍）の影響で国内民間建築が減少

（単位：億円）



	2018/9期	2019/9期	2020/9期	
	実績	実績	実績	前期比増減
国内官公庁	349	189	276	87
国内民間	96	275	179	△96
海外	229	△4	37	41
土木工事	674	460	492	32
国内官公庁	102	62	93	31
国内民間	1,165	1,020	783	△237
海外	24	7	22	15
建築工事	1,291	1,089	898	△191
国内官公庁	451	251	369	118
国内民間	1,261	1,295	962	△333
海外	253	3	59	56
合計	1,965	1,549	1,390	△159
海外（現地法人含む）	(436)	(219)	(126)	(△93)

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

04. 完成工事高《個別》

04

完成工事高

1,486億円

（前期比△9.9%）

土木 596億円

建築 890億円

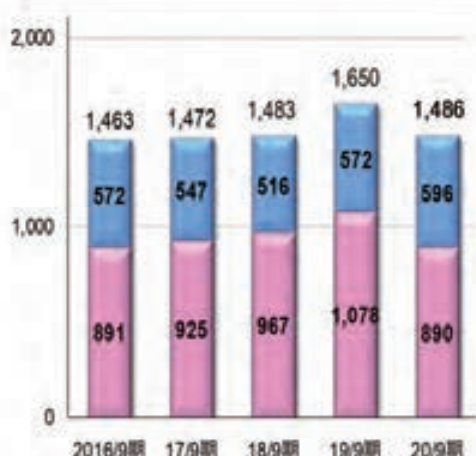
○建築大型工事の多くが施工初期段階のため前期比△9.9%減

（土木+4.2%、建築△17.3%）

○繰越工事高は6,980億円と引き続き高水準

■完成工事高

（単位：億円）



	2018/9期	2019/9期	2020/9期	
	実績	実績	実績	前期比増減額 増減率
土木	516	572	596	+24 +4.2%
建築	967	1,078	890	△188 △17.3%
合計	1,483	1,650	1,486	△164 △9.9%

（参考）繰越工事高の推移

	2017/3期末	2018/3期末	2019/3期末	2020/3期末	2020/9期末
土木	2,299	2,379	3,168	3,297	3,193
建築	2,582	2,853	4,217	3,780	3,787
合計	4,881	5,232	7,385	7,077	6,980

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

完成工事総利益

140億円

(前期比 △35億円)

土木 66億円
建築 74億円

完成工事総利益率

9.4%

(前期比 △1.2pt)

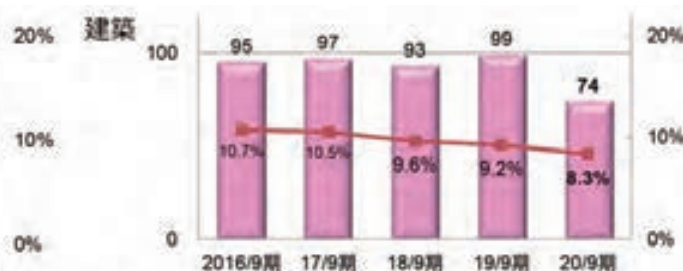
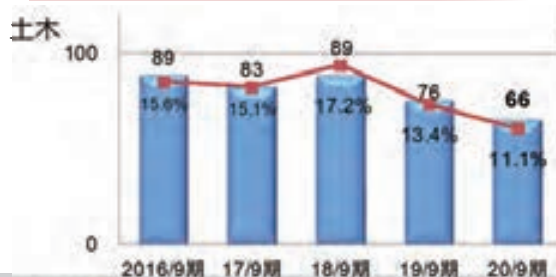
土木 11.1%
建築 8.3%

○完成工事総利益率は、一部工事における利益低下により土木・建築とも前期を下回る

■ 完成工事総利益 (総利益率)

(単位: 億円)

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	
	実績	実績	実績	前期比増減
土木	89	76	66	△10
(率)	17.2%	13.4%	11.1%	△2.3pt
建築	93	99	74	△25
(率)	9.6%	9.2%	8.3%	△0.9pt
合計	182	175	140	△35
(率)	12.3%	10.6%	9.4%	△1.2pt



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

06. 財政状態・キャッシュフロー

連結自己資本比率

26.8%

(前期末比 △0.3pt)

■ 連結財政状態

(単位: 億円)

	2019/9期末	2020/3期末	2020/9期末	
	実績	実績	実績	増減
資産合計	3,428	3,534	3,558	24
負債合計	2,430	2,510	2,535	25
(有利子負債)	(454)	(398)	(656)	(258)
純資産合計	998	1,024	1,023	△1
(自己資本)	(922)	(957)	(955)	(△2)
自己資本比率	26.9%	27.1%	26.8%	△0.3pt

■ 連結自己資本



■ 連結キャッシュフロー

	2019/9期	2020/9期
	実績	実績
営業CF	△289	△81
投資CF	△2	△11
財務CF	83	219
期末現金同等物	456	584

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

○通期業績計画に対し、概ね想定通りの進捗
期首(2020年5月13日)公表の業績予想から変更なし

■ 連結業績

	2020/3期	2021/3期	
	実績	業績予想	増減
売上高	4,724	4,000	△724
売上総利益	477	417	△60
営業利益	248	180	△68
経常利益	239	155	△84
当期純利益(※)	156	100	△56

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配当実績・予想

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
年間配当金	24.0円	24.0円	18.0円
配当性向	20.5%	24.5%	28.4%

■ 建設受注高 (個別)

(単位: 億円)

	2020/3期	2021/3期	
	実績	受注予想	増減
土木	1,442	1,200	△242
建築	1,942	2,150	208
合計	3,384	3,350	△34

■ 完成工事総利益率 (個別)

	2020/3期	2021/3期	
	実績	業績予想	増減
土木	12.4%	12.6%	+0.2pt
建築	8.1%	9.4%	+1.3pt
合計	9.6%	10.6%	+1.0pt

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅱ. 当社事業の状況

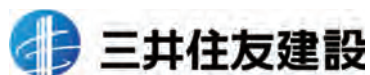
01. コロナ禍における状況
02. 橋梁、住宅建設事業の取り組み



三井住友建設

Ⅱ. 当社事業の状況

01. コロナ禍における状況



01. コロナ禍における状況

08

コロナ感染予防に対する基本方針と対応

三井住友建設グループの基本方針

役職員、家族、関係者の命と健康を守ることを前提として、
感染拡大の防止に向け、取り得る施策を最大限実施し、事業を継続する
「コロナ感染、みんなで守り ガマンで乗り切ろう!」

感染予防対策の継続徹底

在宅勤務、時差出勤
離隔距離の確保、マスク着用
体温管理、消毒の徹底

国内外の状況に応じて適宜
ルールを変更しながら事業を継続

作業所における感染予防意識の向上

フェイスカバリングを
国内外の作業所に導入



事業に対する影響

コロナ禍による影響

国内工事

感染拡大による現場の閉鎖もなく、影響は限定的

海外工事

3月以降、工事の中断が多数生じたが、現状では多くの国や地域で工事の再開も進み、全体的には回復基調

国内受注

民間企業では建設投資を留保する動きが多数発生
公共工事は一部遅れはあるが出件は例年並み

海外受注

各地域のロックダウン等により、ODA事業や日系企業の
建設計画の延期や中止も多く影響が大きい

国内事業への影響は限定的、海外事業は影響大だが、全体としては想定範囲内

コロナ禍におけるマーケット展望と状況

EC市場の拡大・定着



国内 海外

物流施設需要の増加
海外インフラ整備需要

医療基盤の再構築



国内 海外

創薬、製薬、医療施設
への設備投資が拡大

都市基盤整備の促進



国内 海外

危機対応力の強化を
目的とした公共事業

国内住宅市場の変容



国内 海外

目線を変えた営業展開
居住ニーズの変化

✓ 物流倉庫: 4件受注

✓ 海外物流倉庫の取組み



D P L 横浜戸塚

✓ Sukkiri for Pharma
実証試験用の実機製作

Sukkiri Unit® 実機

✓ 橋梁事業領域の拡大

✓ 更新工事: 6件受注



橋梁床版取替工事

✓ 超高層住宅の取組み
(再開発事業・地方都市)

✓ 在宅ワークプラン開発



SmaEwork™プラン

Ⅱ. 当社事業の状況

02. 橋梁、住宅建設事業の取組み



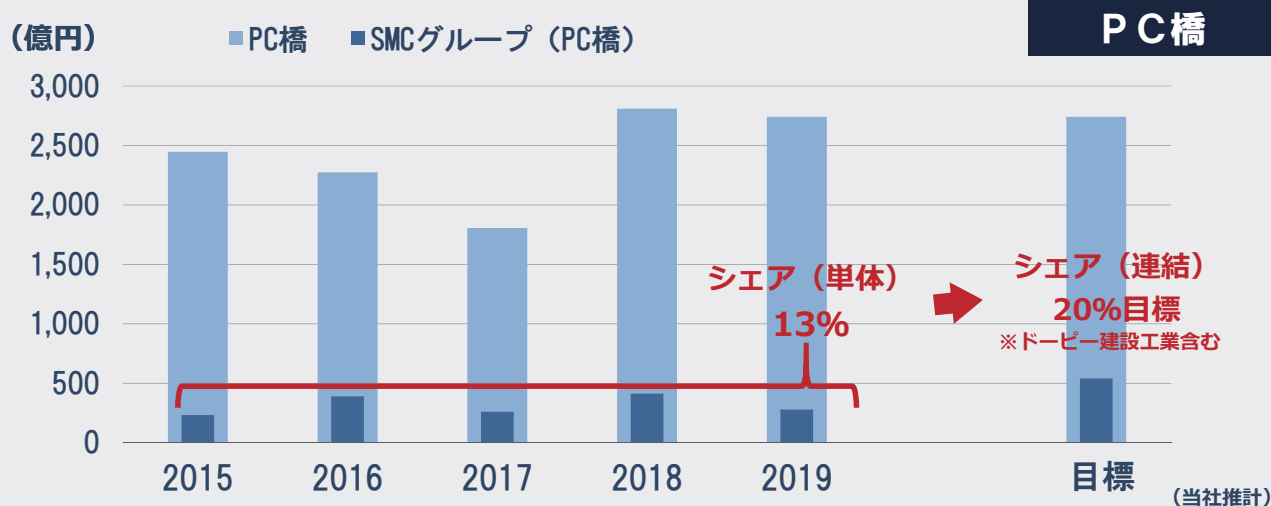
02. 橋梁、住宅建設事業の取組み

11

橋梁事業の事業規模拡大（10月1日 M & A クローリング）

銅橋事業者の三井住友建設鉄構エンジニアリングと
PC事業者のドーピー建設工業が当社グループに加入

- ✓ 国土強靱化、既存インフラの老朽化等の社会課題により需要は安定的
- ✓ ドーピー建設工業と共にPC橋シェア20%を目指す



PC橋発注および受注実績

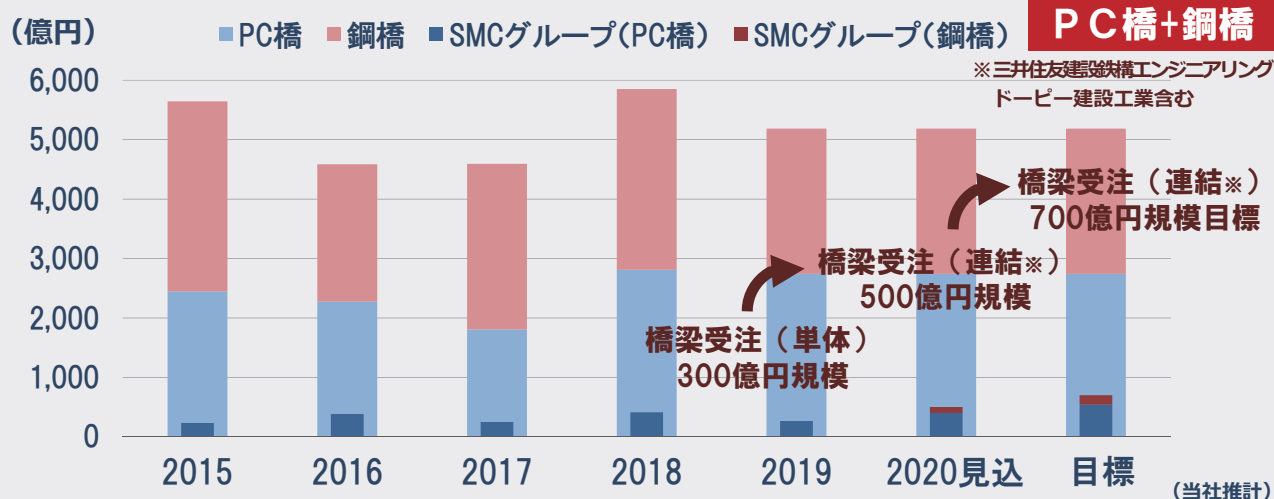
02. 橋梁、住宅建設事業の取組み

12

橋梁事業の事業規模拡大（10月1日 M & A クローリング）

銅橋事業者の三井住友建設鉄構エンジニアリングと
PC事業者のドービー建設工業が当社グループに加入

- ✓ さらに、PC橋+銅橋に事業領域を拡大
- ✓ 橋梁事業の受注規模として、700億円規模を目指す



PC橋+銅橋発注および受注実績

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

02. 橋梁、住宅建設事業の取組み

13

橋梁更新事業の市場環境

- ✓ 新設需要は縮小傾向、更新需要が大幅に増加

現 状	今後見込み
新設 70% : 更新 30%	新設 50% : 更新 50%

グループ全体でインフラ更新事業への取り組みを一層強化



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

インフラ更新事業の取組み展開

更新事業の領域の拡大

橋梁 床版取替

※当社、ドーピー建設工業



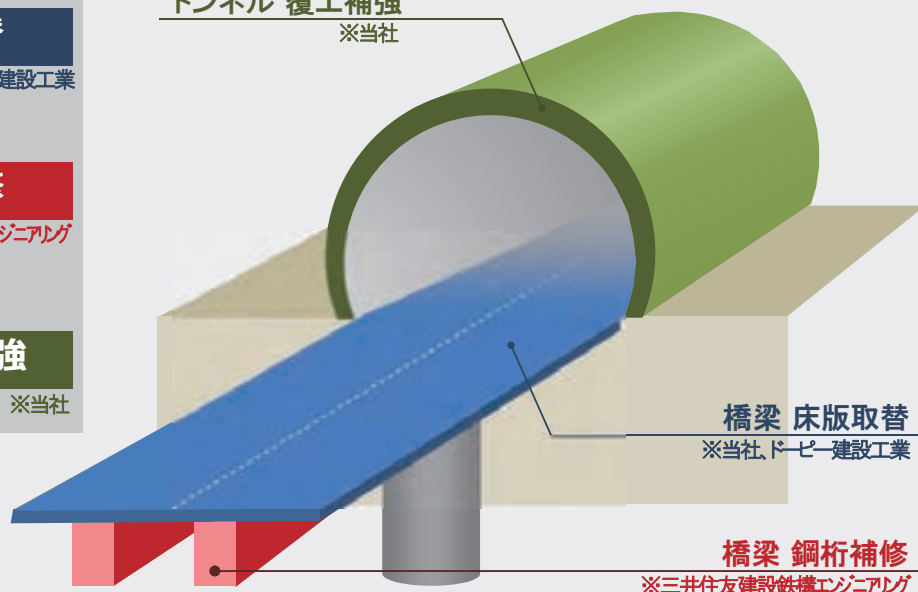
橋梁 鋼桁補修

※三井住友建設鉄構エンジニアリング



トンネル 覆工補強

※当社

トンネル 覆工補強
※当社

橋梁 床版取替

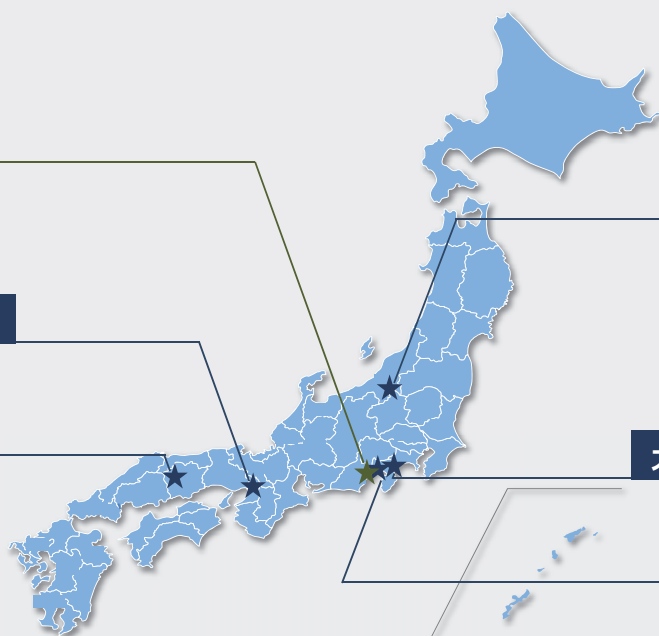
※当社、ドーピー建設工業

橋梁 鋼桁補修

※三井住友建設鉄構エンジニアリング

インフラ更新事業の取組み展開

大規模更新・修繕工事の今年度受注（6件）

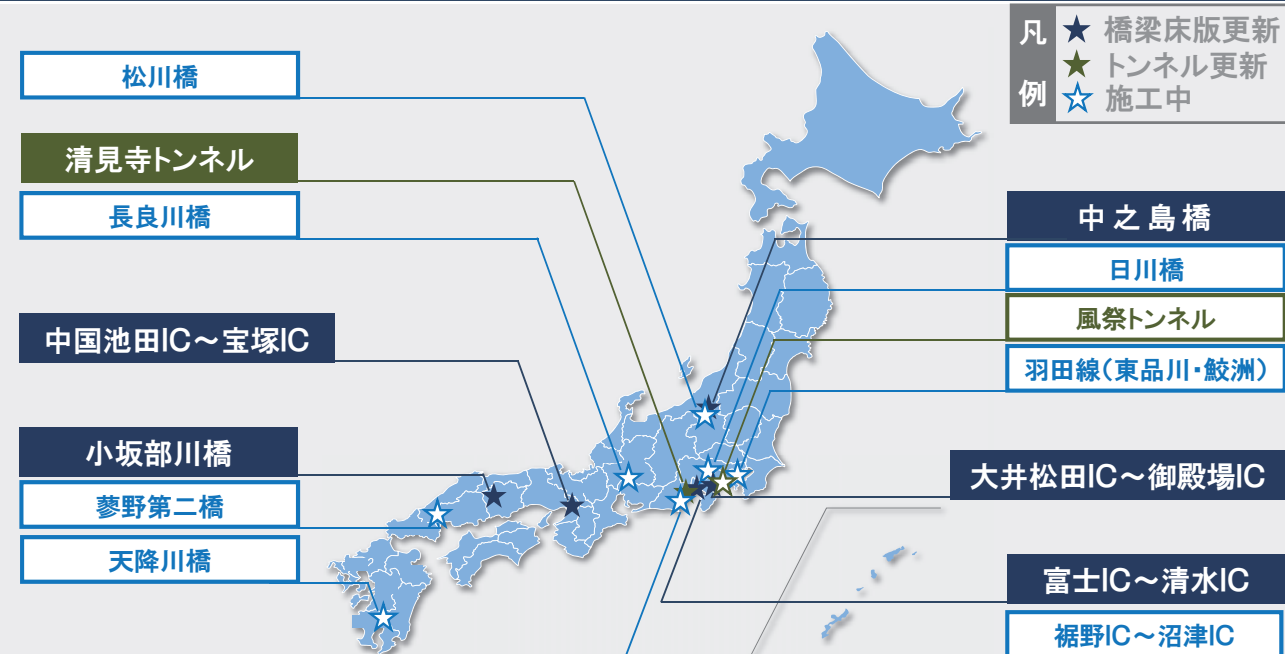
NEXCO中 東名高速道路
清見寺トンネルNEXCO西 中国自動車道
中国池田IC～宝塚ICNEXCO西 中国自動車道
小坂部川橋凡例
★ 橋梁床版更新
★ トンネル更新NEXCO東 関越自動車道
中之島橋NEXCO中 東名高速道路
大井松田IC～御殿場ICNEXCO中 東名高速道路
富士IC～清水IC

02. 橋梁、住宅建設事業の取組み

16

インフラ更新事業の取組み展開

大規模更新・修繕工事の今年度受注・施工中案件



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

02. 橋梁、住宅建設事業の取組み

17

住宅建設事業の展開

市街地再開発事業の取組み

JR小岩駅北口地区第一種市街地再開発事業 特定業務代行者に選定

- ✓ 地区面積：約2.0ha
- ✓ 建物規模：地上30階建
- ✓ 建物用途：住宅・店舗・事務所等



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅲ. 2030年の将来像に向けて

- 01. 建設生産革命の実現
- 02. 建設から広がる多様なサービス
- 03. サステイナブルな技術
- 04. グローバルな人材
～海外事業への取り組み



2030年の将来像に向けて

18

2030年の将来像

新しい価値で「ひと」と「まち」をささえてつなぐ、
グローバル建設企業へ

4つの「新しい価値」で社会に貢献する

建設生産革命の実現 ～次世代建設生産システム	建設から広がる 多様なサービス	サステイナブルな技術	グローバルな人材
✓ DCM (CIM/BIM) ✓ ICT活用 ✓ 自動化技術 ✓ PC/PCa	✓ 再エネ事業 ✓ インフラメンテナンス ✓ PFI/PPP事業 ✓ 医薬エンジニアリング	✓ 高耐久構造物技術・高性能部材技術 ・Dura-Bridge ・サスティンクリート ✓ 省エネ技術 (ZEB等) ✓ BCP関連技術	✓ グローバル人材教育 ・技術・語学研修 ・コミュニケーション トレーニング ✓ 働き方改革 ✓ エンゲージメント

Ⅲ. 2030年の将来像に向けて

01. 建設生産革命の実現



01. 建設生産革命の実現～次世代建設生産システム

19

プレキャスト部材の生産拠点の強化

- ✓ 複数のプレキャスト生産拠点を自社グループで有するゼネコン
- ✓ M&Aにより新たに2工場加わりネットワークを強化

プレキャスト部材の安定的かつ合理的な調達が可能



生産性向上のための新しい技術

橋梁事業における高効率・短工期技術

SMC-Bridge

橋梁建設に関する各データとICTシステムの
一元的な管理・運用を可能にするシステム

【搭載システム(一部)】

SMC-Modeler

SMC-Oneナビ

SMC-Slab

EQ Wall

床版取替工事に適したプレキャスト壁高欄

取付が容易

急速施工が可能



SMC-Slab適用

床版取替工事における設計支援プログラム

構造図の作成時間を 1 / 3 に短縮

【適用プロジェクト】

- ・工事名: 中国自動車道(特定更新等)蓼野第二橋他3橋
床版取替工事
- ・発注者: 西日本高速道路株式会社 中国支社
- ・工 期: 2019年11月15日～2022年8月30日



生産性向上のための新しい技術

虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業(B-1街区)



生産性向上のための新しい技術

虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業(B-1街区)での新技術・サービス

地下躯体スクライム工法

当社独自のプレキャスト技術
「スクライム工法」を
地下躯体工事まで適用を拡大



地下躯体(柱/梁)をプレキャスト化し、
高品質な躯体を効率的に構築

地下躯体構築における生産性が向上

インフィルサポートシステム

従来は複数企業で分担していた
住戸インテリアに関する顧客要望を
受付から引渡しまで一貫対応



組合員住戸の個別相談会を実施中
(有償オプション、設計変更対応)

複雑化する顧客ニーズに迅速かつ的確に対応

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

ICTを活用した生産性向上施策

個別施策とその効果(抜粋)

ICT活用 生産性向上 施策	部材生産	ロボタラス	鉄筋組立自動化システム	生産量 約 1.5 倍
		SMC-Slab	床版更新設計支援プログラム	構造図作図時間 約 1/3
	設計	ラクカメラ	鉄筋出来形自動検測システム	計測時間が約 1/3
		自動de覆工	覆工コンクリートの圧送自動化	作業人工が約 2/3
	建設	スマートジャー	PC橋自動出来形検測システム	作業人工が約 1/2
		SMileSite	タブレットを用いた各検査システム	検査時間が約 1/2
	維持管理	Maplet SM	橋梁点検アプリ	点検の事前準備時間 約 1/10
		MOLE-FMR	導水路トンネル調査・点検	作業時間が約 1/2

個々の生産性向上技術の積み上げによって「建設生産革命の実現」へと繋げる

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅲ. 2030年の将来像に向けて

02. 建設から広がる多様なサービス



02.建設から広がる多様なサービス

24

再生可能エネルギー事業

蓮池水上太陽光発電事業 工事着工

事業概要

- ✓ 事業者：
三井住友建設
- ✓ パネル出力：
約1,900kw
- ✓ パネル設置面積：
約2.5ha
- ✓ 工事期間：
2020年10月～
2021年4月
- ✓ 事業開始：
2021年4月～

完成予想図



香川県坂出市川津町

太陽光発電の事業規模は計約8.4メガワットまで拡大

医薬品エンジニアリング事業

Sukkiri for Pharma

- ✓ 実証試験用のSukkiri Unit®の実機を製作
- ✓ 医薬品製造工場案件に採用提案中



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅲ. 2030年の将来像に向けて

03. サステナブルな技術

超高耐久技術

腐食劣化と決別した超高耐久橋梁「Dura-Bridge®」

鋼材を一切用いない

高強度繊維補強コンクリート / アラミドFRPロッド

塩害等による腐食を防止

コンクリート片のはく落防止 / 維持管理負担の低減



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

超高耐久技術

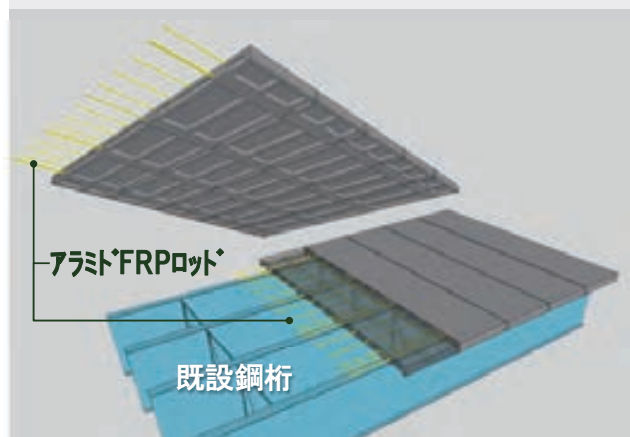
床版取替え工事に適したプレキャスト工法

Dura-Barrier®

床版取替え工事に適した
超高耐久壁高欄

Dura-Barrier® 設置状況 (別荘谷橋)

Dura-Slab®

床版取替え工事に適した
超高耐久プレキャスト床版

Dura-Slab® イメージ

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

高性能コンクリート技術

持続可能性に貢献する高性能なコンクリート「サステンクリート[®]」

サステンクリート[®] 5つの特徴

超低収縮

超低発熱

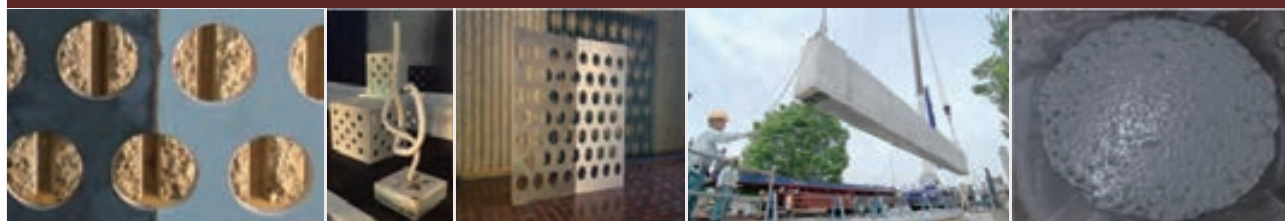
高強度

超低炭素

高流動

5つの特長を全て備えるのはコンクリートはサステンクリート[®]のみ

副産物を使いこなす独自の「配合コンセプト」によって、
高い生産性・高品質・高耐久性なコンクリート構造物を実現



高性能コンクリート技術

「サステンクリート[®]」 実用化の取組み

橋梁床版取替工事において「サステンジョイント[™]」を開発

- ✓ プレキャスト床版の接合部に「繊維補強サステンクリート」を使用
- ✓ 部材強度が高いため、耐久性上弱点となる接合部分への使用に適している
- ✓ さらに接合部の鉄筋の配筋も簡略化でき生産性も向上



省エネルギー技術

住宅の省エネルギー化の取り組み

超高層ZEH-M実証事業（経済産業省：2019年度より開始）に採択
（ゼッチ・マンション）

ZEH-M : Net Zero Energy House Mansion

「ZEH-M」（ゼッチ・マンション）とは

外皮断熱性の向上
高効率設備の導入
再エネ設備の導入

家庭のエネルギー収支を
「ゼロ」に近づけることを
目指したマンション

超高層ZEH-M実証事業

ZEH-M Oriented水準を満たすことが採択要件
（21階建以上/強化外皮基準/省エネ率20%以上）

Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス、
（仮称）大阪市北区豊崎4丁目計画の2件が採択



超高層ZEH-M Oriented

Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス

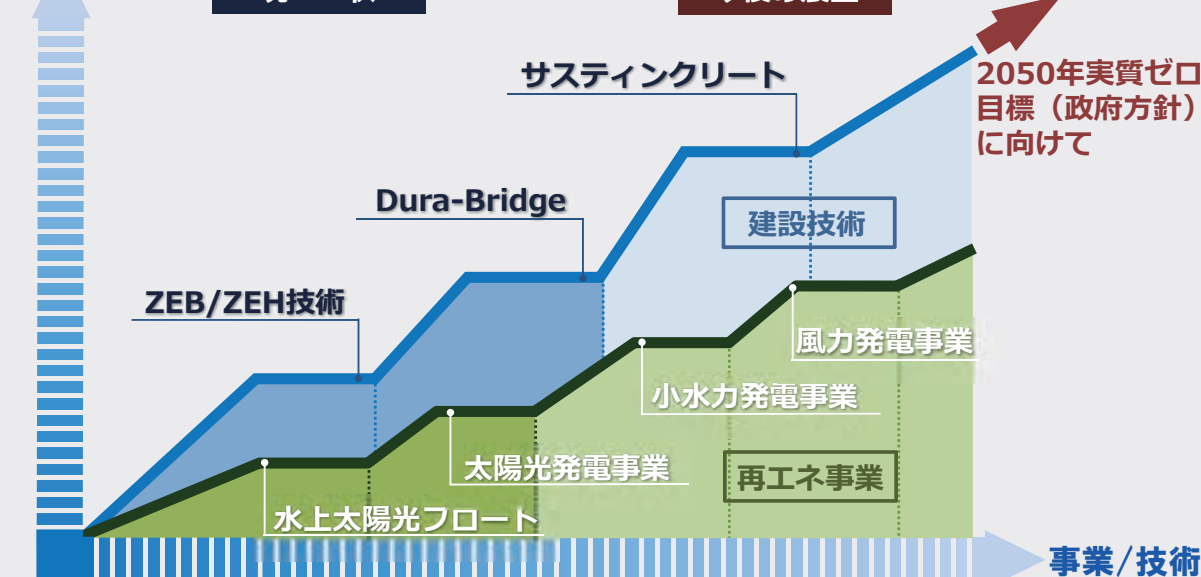
2019年度 超高層ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業採択4件中2件が当社施工案件

低炭素に対する当社の取り組み

貢献度

現 状

今後の展望



建設技術と再エネ事業の両面から環境負荷の低減に貢献

Ⅲ. 2030年の将来像に向けて

04. グローバルな人材 ～海外事業への取組み



04. グローバルな人材 ～海外事業への取組み

32

海外の事業環境

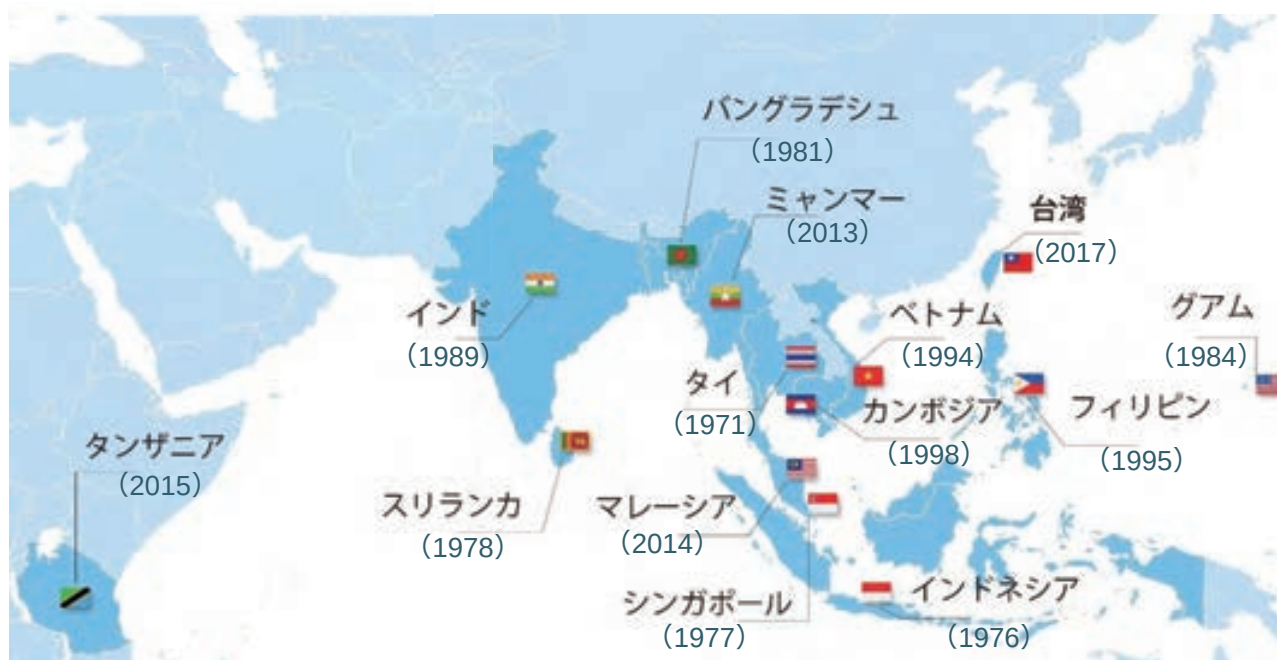
マーケット状況

- ✓ 世界各地でコロナ禍による計画延期、工事進捗の遅れによって停滞傾向
- ✓ 長期的には再び旺盛な需要が戻ると見込み、海外戦略は現状を維持
- ✓ アジア・アフリカ地域ではインフラが未整備で都市課題も多く、当社が貢献できるフィールドは大きい

当社の取組み

- ✓ コロナ感染予防の対応は日本国内と同水準を確保
- ✓ 来る市場の回復に備え、長期的な目線で事業の継続、体制の維持
- ✓ 「グローバル化宣言」に基づくグローバル人材の育成を推進
- ✓ 海外事業は成長ドライブ、売上高の30%を見据える

当社の海外展開状況



1971年のタイ進出以降、アジアを中心に海外展開を継続（現在14か国）

海外事業の工事状況（各国代表現場）

		工事稼働									工事中断
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	状 況
スリランカ	土木現場				▶再開						6月再開
バングラデシュ	土木現場				▶再開						7月再開
タンザニア	土木現場										中断
フィリピン	土木現場			▶再開							4月再開
ミャンマー	土木現場									▶11月	一部再開
インド	建築現場					▶再開					8月再開
シンガポール	建築現場					▶再開					8月再開
マレーシア	建築現場			▶再開							6月再開
インドネシア	建築現場			▶再開							6月再開

※ベトナム、カンボジア、グアム、タイは工事中止期間なし

約6割の海外作業所が一時的に工事を中断したが、現在は1作業所を除き工事再開

海外事業の状況

スリランカ・ケラニ橋

発注者：スリランカ高等教育高速道路省
道路開発庁工事概要：工事全長1,185m
エクストラード橋380m

進捗率：78%（6/6～順次工事再開）



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

グローバル人材の育成

インド経済の力強い回復を見据えた人材育成の強化

☑ 短期的には建設市場の縮小に伴い一時的に余剰人員が生じる想定

☑ インドでの雇用を維持し、この機に現地スタッフの技術力の向上を目指した人材教育を更に充実し、インドの事業体制を強化を図る



研修動画配信 (HDC Japan)



Web受講 (HDC India)

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2030年の将来像

新しい価値で「ひと」と「まち」をささえてつなぐ、
グローバル建設企業へ

4つの「新しい価値」で社会に貢献する

建設生産革命の実現 ～次世代建設生産システム	建設から広がる 多様なサービス	サステナブルな技術	グローバルな人材
✓ DCM (CIM/BIM) ✓ ICT活用 +システム開発 ✓ 自動化技術 +建設機械管理 ✓ PC/PCa技術 +PC/PCa生産	✓ 再エネ事業 ✓ インフラメンテナンス +鋼橋メンテ ✓ PFI/PPP事業 ✓ 医薬エンジニアリング + リフォーム・改修	✓ 高耐久構造物技術・高性能部材技術 ・Dura-Bridge ・サスティンクリート +アラミド繊維 ✓ 省エネ技術 (ZEB等) ✓ BCP関連技術 +免制震技術	✓ グローバル人材教育 ・技術・語学研修 ・コミュニケーション トレーニング ✓ 働き方改革 ✓ エンゲージメント + 海外現法ネットワーク

「三井住友建設グループ」で更に広がる「価値の領域」

2030年の将来像

新しい価値で「ひと」と「まち」をささえてつなぐ、
グローバル建設企業へ

4つの「新しい価値」で社会に貢献する

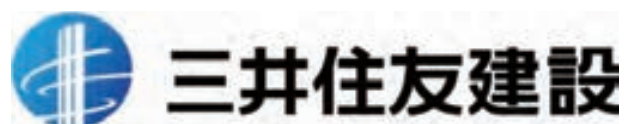
建設生産革命の実現 ～次世代建設生産システム	建設から広がる 多様なサービス	サステナブルな技術	グローバルな人材
---------------------------	--------------------	-----------	----------

三井住友建設グループ



グループ全体で「新しい価値」を世界に提供し、社会的な企業価値の向上を目指す

はしも、
まちも、
ひとも。



お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。